

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載  
 【部門区分】第 7 部門第 3 区分  
 【発行日】令和 2 年 12 月 10 日 (2020.12.10)

【公開番号】特開 2019-87816 (P2019-87816A)  
 【公開日】令和 1 年 6 月 6 日 (2019.6.6)  
 【年通号数】公開・登録公報 2019-021  
 【出願番号】特願 2017-212907 (P2017-212907)  
 【国際特許分類】

H 0 4 L 12/721 (2013.01)

【 F I 】

H 0 4 L 12/721 Z

【手続補正書】

【提出日】令和 2 年 10 月 30 日 (2020.10.30)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 7

【補正方法】変更

【補正の内容】

【 0 0 0 7 】

上記目的を達成するために、本発明の情報処理装置は、複数の通信インタフェースからデータを送信可能な情報処理装置であって、インターネット上の外部装置と通信を行う際に用いられるプロキシサーバを設定する設定手段と、前記複数の通信インタフェースの中から通信に用いる通信インタフェースを決定する決定手段と、前記通信に用いると決定した通信インタフェースが第 1 の通信インタフェースである場合、前記設定されたプロキシサーバ経由で外部にデータを送信するよう制御し、前記通信に用いると決定した通信インタフェースが第 2 の通信インタフェースである場合、前記設定されたプロキシサーバを経由することなく、外部にデータを送信するよう制御する通信制御手段と、を有し、前記情報処理装置は、前記第 1 の通信インタフェースを介して第 1 の外部装置と通信しながら、前記第 2 の通信インタフェースを介して前記第 1 の外部装置とは異なる第 2 の通信装置と通信を行うことが可能に構成されていることを特徴とする。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

複数の通信インタフェースからデータを送信可能な情報処理装置であって、インターネット上の外部装置と通信を行う際に用いられるプロキシサーバを設定する設定手段と、

前記複数の通信インタフェースの中から通信に用いる通信インタフェースを決定する決定手段と、

前記通信に用いると決定した通信インタフェースが第 1 の通信インタフェースである場合、前記設定されたプロキシサーバ経由で外部にデータを送信するよう制御し、前記通信に用いると決定した通信インタフェースが第 2 の通信インタフェースである場合、前記設定されたプロキシサーバを経由することなく、外部にデータを送信するよう制御する通信制御手段と、を有し、

前記情報処理装置は、前記第 1 の通信インタフェースを介して第 1 の外部装置と通信し

ながら、前記第 2 の通信インタフェースを介して前記第 1 の外部装置とは異なる第 2 の通信装置と通信を行うことが可能に構成されていることを特徴とする情報処理装置。

【請求項 2】

前記第 2 の通信インタフェースが接続されているネットワークのネットワークアドレスと通信先となる外部装置が接続されているネットワークのネットワークアドレスとが一致する場合に、前記決定手段は、前記第 2 の通信インタフェースを通信に用いると決定することを特徴とする請求項 1 記載の情報処理装置。

【請求項 3】

プロキシサーバ経由の通信を有効にするか無効にするかを設定する第 2 の設定手段を更に備え、

前記第 2 の設定手段によってプロキシサーバ経由の通信を無効にする設定がなされている場合、前記通信制御手段は、前記決定手段で前記第 1 の通信インタフェースを用いると決定された場合であっても、前記設定手段で設定されたプロキシサーバを経由することなく外部にデータを送信するよう制御することを特徴とする請求項 1 又は 2 記載の情報処理装置。

【請求項 4】

ユーザ操作に基づいて通信宛先の指定を受け付ける受付手段と、  
原稿を読み取る読取手段と、を更に有し、

前記受付手段で受け付けた通信宛先が WebDAV サーバであり、且つ、前記決定手段で前記通信に用いると決定した通信インタフェースが前記第 1 の通信インタフェースである場合、前記通信制御手段は、前記設定されたプロキシサーバ経由で前記 WebDAV サーバに対して、前記読取手段で原稿を読み取って得られた画像データを送信することを特徴とする請求項 1 乃至 3 のいずれか 1 項に記載の情報処理装置。

【請求項 5】

前記第 1 の通信インタフェースを利用しない設定が前記情報処理装置の動作設定として設定されており、且つ、前記第 2 の通信インタフェースを利用する設定が前記情報処理装置の動作設定として設定されている場合、前記通信制御手段は、前記決定手段で前記通信に用いると決定した通信インタフェースが前記第 2 の通信インタフェースの場合であっても、前記設定されたプロキシサーバを経由して、外部にデータを送信するよう制御することを特徴とする請求項 1 乃至 4 のいずれか 1 項に記載の情報処理装置。

【請求項 6】

前記第 1 の通信インタフェースは、メインネットワーク上の第 1 の外部装置と通信する通信インタフェースであり、前記第 2 の通信インタフェースは、サブネットワーク上の第 2 の外部装置と通信する通信インタフェースであることを特徴とする請求項 1 乃至 5 のいずれか 1 項に記載の情報処理装置。

【請求項 7】

前記情報処理装置は、前記第 1 の通信インタフェース及び前記第 2 の通信インタフェースを備えていることを特徴とする請求項 1 乃至 6 のいずれか 1 項に記載の情報処理装置。

【請求項 8】

前記第 1 の通信インタフェースは有線通信インタフェースであり、前記第 2 の通信インタフェースは無線通信インタフェースであることを特徴とする請求項 1 乃至 7 のいずれか 1 項に記載の情報処理装置。

【請求項 9】

複数の通信インタフェースからデータを送信可能な情報処理装置の制御方法であって、インターネット上の外部装置と通信を行う際に用いられるプロキシサーバを設定する設定ステップと、

前記複数の通信インタフェースの中から通信に用いる通信インタフェースを決定する決定ステップと、

前記通信に用いると決定した通信インタフェースが第 1 の通信インタフェースである場合、前記設定されたプロキシサーバ経由で外部にデータを送信するよう制御し、前記通信

に用いると決定した通信インタフェースが第２の通信インタフェースである場合、前記設定されたプロキシサーバを経由することなく、外部にデータを送信するよう制御する通信制御ステップと、を有し、

前記情報処理装置は、前記第１の通信インタフェースを介して第１の外部装置と通信しながら、前記第２の通信インタフェースを介して前記第１の外部装置とは異なる第２の通信装置と通信を行うことが可能に構成されていることを特徴とする情報処理装置の制御方法。

【請求項１０】

複数の通信インタフェースからデータを送信可能な情報処理装置の制御方法をコンピュータに実行させるプログラムであって、

前記情報処理装置の制御方法は、

インターネット上の外部装置と通信を行う際に用いられるプロキシサーバを設定する設定ステップと、

前記複数の通信インタフェースの中から通信に用いる通信インタフェースを決定する決定ステップと、

前記通信に用いると決定した通信インタフェースが第１の通信インタフェースである場合、前記設定されたプロキシサーバ経由で外部にデータを送信するよう制御し、前記通信に用いると決定した通信インタフェースが第２の通信インタフェースである場合、前記設定されたプロキシサーバを経由することなく、外部にデータを送信するよう制御する通信制御ステップと、を有し、

前記情報処理装置は、前記第１の通信インタフェースを介して第１の外部装置と通信しながら、前記第２の通信インタフェースを介して前記第１の外部装置とは異なる第２の通信装置と通信を行うことが可能に構成されていることを特徴とするプログラム。